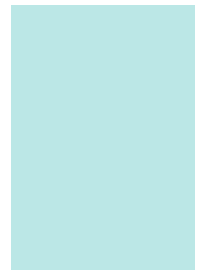
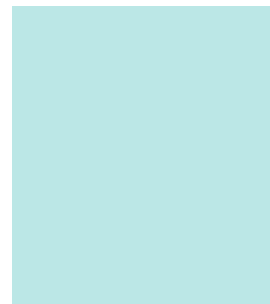
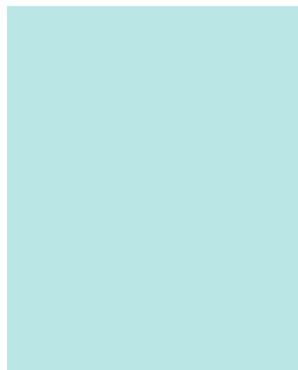
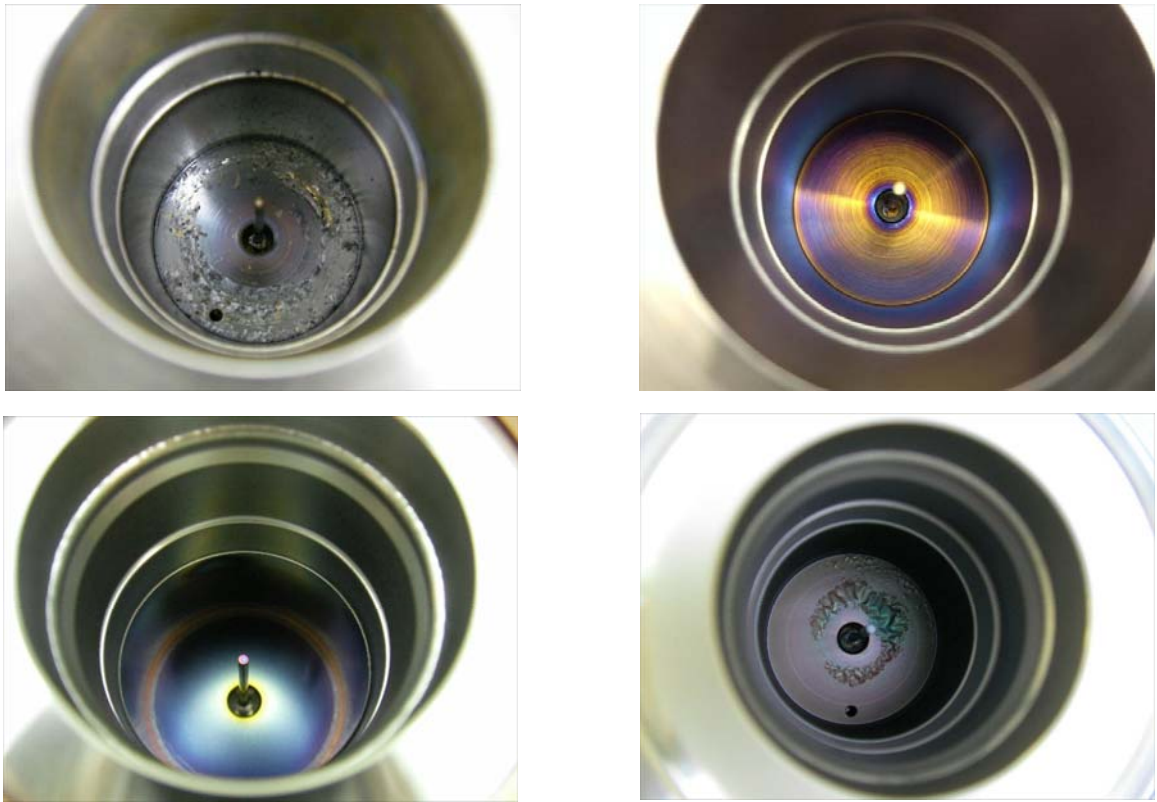


～Pfeiffer Vacuum社製 コールドカソード真空計 メンテナンスのお奨め～



□ メンテナンスの必要性

定期的なメンテナンス無しでは突然圧力表示不良を起こすこともあります。この原因として、ほとんどの場合、真空計測チャンパー内の汚れにより発生しております。



汚れサンプル

□ 症状

- ピラニセンサからコールドカソードへ切り替わらない (PKR)
 - * -1Pa (-3mbar) 程度で圧力表示が止まってしまう
- アンダーレンジ表示のまま動作せず
- 表示がふらつく
- 実際の圧力と明らかに値が違う

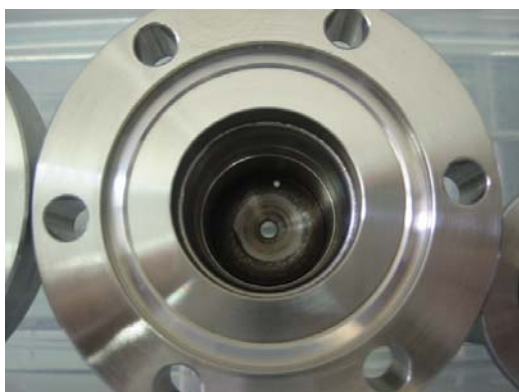
これらの症状のほとんどが汚れによるものです。

□ メンテナンスはなぜ必要？

コールドカソード真空計はイオンポンプの原理に近く、真空計自体に排気能力があり、使用していくと汚れていきます。測定圧力が高いほど汚れるサイクル(メンテナンスが必要になるサイクル)は短くなります。真空計の汚れは使用するプロセスの媒体、以前からある汚染に関与する物質、新たに生成される汚染物質等、それぞれの分圧が影響いたします。

□ クリーニングについて

弊社でのクリーニング作業は計測チャンパー内の汚れを取り除き、その後、洗浄、乾燥、組み立て(消耗品の交換)、リークテスト、動作確認、ピラニセンサの調整(PKR)を行います。作業後は新品と変わらない状態となります。



クリーニング前



クリーニング後

□ サービスについて

ファイファーバキューム社製品のアフターサービスにつきましては伯東(株)またはご購入先へご用命ください。修理、オーバーホールなどの作業は弊社で対応いたします。特別な場合を除く、作業は国内で行っております。ご質問等ございましたらお気軽にご相談ください。

問い合わせ先: 伯東株式会社 電子機器事業部 技術二部

伊勢原サービスセンター TEL: 0463-96-2005/FAX: 0463-96-2021

お問い合わせアドレス: Pfelffer-service@hakuto.co.jp